

第16回美しい農村環境写真コンテスト作品評

特別審査員：鏑山英次 氏（日本写真協会理事）

（撮影者：敬称略）

最優秀賞

「仲良し友達」



（撮影場所：君津市小櫃 撮影者：三沢 貞夫）

刈り取られたばかりの稲穂の上ではしゃぐ子供たちのケラケラと爆笑する声が伝わってくる。自然であどけない一人一人の異なる表情を見事なシャッターチャンスで捉えている。収穫されたフィールドに“農の天使”が舞い降りて、可憐な子供たちの演出による象徴的な“収穫のお祭り”のようでもあり、農への祝福の光景とも言えるだろう。思わず誰もが共感する作品に仕立て上げた秀作である。

千葉県土連会長賞

「白鳥がやってきた」



（撮影場所：香取郡東庄町 撮影者：小阪 欽哉）

この冬、北国地方は降雪に見舞われ、越冬のため飛来した白鳥たちも難儀を強いられたようだ。自在に飛ぶことのできる渡り鳥は、越冬に適した場所を捜し求めて飛来する。その条件は安全で食が満たされる所である。里に隣接した田園で、親子と並んだ群れの不思議とも見える表情に緊張感もあり、全体の調和が美しい。画面の色調が厳冬を思わせる的確な描写で、人と自然の調和を完成度の高い作品に仕上げている。

特別賞

【千葉県農村振興技術連盟賞】

「オダかけの頃」



（撮影場所：鴨川市大山千枚田 撮影者：高野 春男）

収穫され、束ねられた稲穂が竹で組まれたオダに掛けられる光景。夫々の地方で、代々伝えられてきた昔ながらの“天日干し”の技法でもある。カメラのアングルが絶妙で奥行き感のある画面を構成していて、黙々と作業を進める老夫婦の後姿が画像を引き締めている。作者はいつまでも、この風景が続くようにとの願いをこめていて、訴追力のある内容に描写している。

特別賞

【農地・水・環境保全向上対策賞】

「体験」



（撮影場所：睦沢町今堰ため池 撮影者：高橋 幸一）

水路のような水溜まりで水生昆虫か水生植物の調査風景だろうか。子供たちの自然で熱心な仕草と、それを見守る親たちの自然が良く表現されている。フィルムを使った作品だけに色調に重圧感がある。手前の少年の足下近くまでフレームすると、画面の印象がもっと強くなった。

金賞

「作付け前」



(撮影場所：香取市 撮影者：西宮 明)

鮮やかなコントラストで描写された農の風景は極めてシンメトリーで、画面に緊張感が漂い、遠近感が誇張されたダイナミック光景に仕立て上げた秀作。全体を幾何学的な構図に収め、現代の美しい農の風景を的確な手法で描き出し、背景の処理も見事である。これから始まる“さつま芋”が植え付けられる畝が、まるで生命体のようなようだ。

銀賞

「霧の中」



(撮影場所：八街市 撮影者：三浦 務)

深い霧に包まれた静寂な朝の光景。晩秋の畑作の細道を散策する女性が通り過ぎていく。静と動との緊張した空気感の描写が巧みで、近景に取り入れたポッチと背景にかすかに浮かぶ森が見事に活写されている。

「御田植祭」



(撮影場所：館山市稲 撮影者：安藤 十三男)

アングルが新鮮で、とてもユニークなフレームです。被写界深度を深めて、水面に映える背後で応援する音楽ライブのメンバーの状態を、もう少し鮮明に描写して欲しい。早乙女たちの並ぶ菅笠が五線譜の音符のようで印象的だ。

銅賞

「兄妹」



(撮影場所：香取市山田橋公園 撮影者：田村 雅彦)

作者はこのフィールドの中で、幼少の頃の故郷での思い出を重ねているようだ。題名を「兄妹」とするのなら、若い二人に焦点を合わせて上部の鯉幟群は縦にした方が効果的だ。

「春の息吹き」



(撮影場所：山武市 撮影者：牛込 金次)

早朝の柔らかい光の中で、競い合うような土筆の描写が素晴らしい。自然河川か用水路か不明ですが、緩やかに曲がる水路と光線を巧みに利用した秀作。早春の息吹に共感です。

「木漏れ日」



(撮影場所：佐倉市 撮影者：飯塚 正治)

畑作のフィールドに晩秋の柔らかい朝の光線が差し込み始めた一時。ポジションをもう少し左に移動した方が、ポッチのシルエットが影を落として効果的でしょう。

佳作

マチ
「都市へと続く『大地のめぐみ』」



(撮影場所：市原市藤井4丁目 撮影者：篠原 次雄)

改良された大きな水田が近代的な機械で収穫され、後方に都市が控えている。変貌する時代を意識した描写が良い。

「一家総出」



(撮影場所：木更津市矢那 撮影者：伊藤 洋子)

田植えの体験イベントに参加した一家のスナップ。母親に背負われた幼児の表情を巧みに描写している。

「帰り道」



(撮影場所：大網白里町 撮影者：上出 善治)

農道と農家と田植えが始まったばかりの風景をフレームして、家路につく一家の描写が巧妙に纏められている。

「騎馬戦開始」



(撮影場所：四街道市 撮影者：越川 征雄)

見物する人達は冬の着物を着用していて、泥にまみれた裸の男たちのコントラストと左の騎馬団の表情が良く描写されている。

「縄編み体験」



(撮影場所：印旛郡栄町 撮影者：亀谷 修子)

初体験の藁で縄を編む作業に挑戦する子供たちの表情を捉えている。ローアングルで、あどけない仕草が良く描写されている。

「楽しい田植え」



(撮影場所：旭市 撮影者：嶋田 洋)

初めて体験する田植えの作業。カスリにたすき掛けでの、あどけない表情が良く捉えられ、遠近描写の画面の構成も優れている。

「田園光景」



(撮影場所：旭市 撮影者：西宮 明)

大胆な画面構成で、稲藁を機械で丸め、家畜の飼料作り光景。操縦者の顔が小さく写り込んでいるのが興味深い。

「トラクターの響」



(撮影場所：我孫子市 撮影者：金親 俊夫)

トラクターが音を響かせながら、桜の開花を合図のように田植えの準備が始まっている光景。

「上総掘り体験」



(撮影場所：八千代市新川 撮影者：亀谷 宏)

上総台地の地形に即して水を得るため伝承された“上総掘り”の体験風景。水は貴重なものであることが実感できる。複雑な画面なのでアングルを変えて、単純にしたい。

「夏は来ぬ」



(撮影場所：八街市 撮影者：牛込 金次)

黄金色の麦畑。後方に西瓜のハウスや落花生の畝筋が控えていて、空は夏の到来を告げている。スケールの大きな風土写真となっている。

「芽吹きの中の田植え」



(撮影場所：夷隅郡大多喜町久我原 撮影者：高橋 紀三郎)

田植え間近の水田に映える赤、青、白の農家の屋根の色。見渡せば辺りは色彩豊かな芽吹きの子節。一句が浮かぶ光景です。

「水仙と棚田」



(撮影場所：安房郡鋸南町上佐久間 撮影者：丸山 豊)

農地の基盤整備で大きな棚田に変貌した地域。手入れした畦地に水仙が咲き乱れている新しい農地の光景。

「田植の家族」



(撮影場所：鴨川市大山千枚田 撮影者：高野 春男)

千枚田での田植えのスナップ。手伝う子供、とりわけ少年の表情が明るい。

「お田植祭り」



(撮影場所：館山市稲 撮影者：瀧口 和男)

“揃った揃ったよ一早苗が揃った”（「田植えの歌」詩・井上 赴、曲・中山晋平）昔の歌にあるように豊年が約束されるだろう。明るく、あどけない表情が活写されている。

「ヒマワリ畑で歌おう」



(撮影場所：君津市 撮影者：大場史恵)

夏雲が湧き、ヒマワリが咲き誇る炎天下の畑中で、合唱する若者の声が暑さを忘れて心地よい。